

西脇市地域公共交通網形成計画(案)に対し、頂いたご意見の概要とご意見に対する考え方

1 募集期間:平成31年1月1日 ~ 平成31年1月30日

2 提出件数:16件(3人)

3 主な意見とその対応

(1) 既に盛り込み済みのもの(2件)

ページ	項目等	意見等の概要	件数	意見等への考え方
43・45	第5章目標達成に向けた施策・事業及び数値目標の設定	バス停留所・営業所、鉄道の駅近隣でのパーク&ライド型駐車場の確保と充実、積極活用の促進(特に大阪・神戸方面への通勤等への活用)	1	本文43・45ページに記載のとおり、西脇市駅、新庁舎の駐車場・駐輪場等を活用し、自動車・自転車から鉄道・バスの公共交通に乗り換えて移動する「パーク(サイクル)&ライド(バスライド)」を推進することとしています。
48・49	第5章目標達成に向けた施策・事業及び数値目標の設定	学生(中学・高校)の利用促進を図ってほしい。	1	本文48・49ページに記載のとおり、交通事業者と連携して、地域住民や学校等を対象とした出前講座や啓発活動などの「モビリティ・マネジメント(MM)」を実施し、公共交通の利用促進を図ることとしています。

(2) 反映困難なもの(1件)

ページ	項目等	意見等の概要	件数	意見等への考え方
41	第5章目標達成に向けた施策・事業及び数値目標の設定	JR加古川線の最終到着駅を現在の西脇市駅から新西脇駅にしてはどうか。車両基地は現在の西脇市駅でよい。新西脇駅が距離的に新市役所に一番近い。JRの利用促進を図ることも必要である。	1	西脇市駅から谷川駅までの間は、線路が単線であり、車両のすれ違いができず、また、新西脇駅には発着駅に必要な設備がありません。こうしたことから、現在の状況では、新西脇駅をJR加古川線の最終到着駅とすることは、現実的に困難であると考えています。しかしながら、ご意見のとおりJRの利用促進は必要なことであると考えておりますので、引き続き、ダイヤ改善等について、JRへ要望・調整してまいります。

(3) 今後の参考とするもの(11件)

ページ	項目等	意見等の概要	件数	意見等への考え方
—	—	循環型バスは、周囲をぐるっと回るような運行のようだが、碁盤の目のような運行が望ましい。西脇区内は一方通行もあるため、運行ルートには十分配慮願いたい。	1	まちなか循環バスは、市街地内の商業施設、公共施設等の拠点を結ぶ循環型のルートを想定しています。ご意見のように、碁盤の目のようにくまなく運行すると、多くの方がバスに乗りやすくなりますが、全体としての速達性が落ち、逆に利便性が下がる可能性があります。運行ルートの検討に当たっては、デマンド型交通や既存の路線バスなども連携しつつ、全体としての利便性が向上するようなルート設定について十分配慮します。
—	—	計画案の実施に当たっては、段階的にどこか一区域を集中的に運行することで、良い点課題点が見えてくるのではないかと。	1	計画案に記載しているデマンド型交通やまちなか循環バスの運行に当たっては、事前に国への許可申請手続等が必要となります。今回の公共交通網の再編は、市全域に影響するものであるため、一部地域における先行実施が可能かどうかも含め、検討いたします。
—	—	デマンド型交通について、早朝・夜半の通勤・通学時間帯の運行時間を充実してほしい。	1	運行日・時間については、事業費や住民ニーズを踏まえ検討することとなりますが、一定の通勤・通学に使っていただけるような運行日・時間について検討いたします。
—	—	デマンド型交通の運行日について、平日及び土曜日の実施を希望する。(平日:7時~12時、15時~19時。土曜日:9時~14時が希望)	1	運行日・時間については、事業費や住民ニーズを踏まえ検討することとなりますが、いただいた御意見はその際の参考とさせていただきます。
—	—	デマンド型交通について、観光客への利用は考えられないか?(自動車に頼れない観光客層の利便性向上による取り込みや、西脇ぐるり廻れるクーポン/南部・まちなか・北部の乗り継ぎ券・一日券の販売など)	1	デマンド型交通は、予約に応じて乗合いで運行します。運行に当たっては、ルート設定や利用者の乗降をスムーズに行うため、乗降場所をあらかじめ決めておくなど、利用者に事前登録していただくことを想定しています。観光客の事前登録の可否をどうするかなど、市外の方の取扱いについては、今後検討いたします。

ページ	項目等	意見等の概要	件数	意見等への考え方
—	—	ホームセンター等については、北部地域に集中しており、特に南部地域の利便性が低い傾向にあります。街中巡回バスのルートを検討するか、デマンド型交通の特例目的地として考慮してください。	1	デマンド型交通の運行には、あらかじめ運行区域を定める必要があります。運行区域の設定に当たっては、利用者需要の集約化と他の公共交通との役割分担などに配慮しながら、市内を北部運行区域と南部運行区域の2区域に分けた上、市街化区域内を両区域からの乗入れが可能な相互乗入区域として設定しています。 相互乗入区域内(市街化区域内)には、ホームセンター等様々な商業施設が存在するため、大体の買物需要に対応できるものと考えています。
—	—	交通弱者の可能性が高い、高齢者においては、通夜・葬儀への参列の機会が多いと考えられる。よって、デマンド型交通において、やすらぎ苑へは、南部からも直接の目的地とできるように配慮いただきたい。	1	デマンド型交通の運行には、あらかじめ運行区域を定める必要があります。運行区域の設定に当たっては、利用者需要の集約化と他の公共交通との役割分担などに配慮しながら、市内を北部運行区域と南部運行区域の2区域に分けた上、市街化区域内を両区域からの乗入れが可能な相互乗入区域として設定しています。
—	—	デマンド型交通の目的地について、芳田地区から大山記念病院へ運行を希望する。大山記念病院は西脇病院に次ぐ大規模な総合病院であり、利用しやすい。	1	現在の運行区域案では、南部運行区域から直接やすらぎ苑や大山記念病院に行くことはできず、南部と北部のデマンド型交通を乗り継ぐ必要があります。御意見のとおり、一定の需要はあるものと考えますので、特例的な目的地の設定が可能かどうかも含め検討いたします。
—	—	デマンド型交通について、車椅子が積載可能な車両の配備も考慮いただきたい。	2	デマンド型交通で使用する車両の仕様、台数等については、今後、運行事業者等とも調整しながら決めていくこととなります。その際には、車椅子が積載可能な車両の導入についても検討いたします。
—	—	デマンド型交通の利用料金は300円を希望する。	1	デマンド型交通の利用料金については、他市町における事例なども参考としながら、できるだけ利用しやすい料金を設定したいと考えています。いただいた御意見はその際の参考とさせていただきます。

(4) その他(2件)

ページ	項目等	意見等の概要	件数	意見等への考え方
—	—	デマンド型交通では、決まった時間に目的地に行けないため、利用者の不満につながるのではないか。	1	御意見のとおり、デマンド型交通は、予約に応じて乗合いで運行し、ルートがその都度変わるため、決まった時間に目的地に行けないこともあります。 しかしながら、デマンド型交通は、決まった時間に運行する路線定期運行では困難な、市内全域に面的に広がる需要に対応する交通として導入するものです。 こうしたデマンド型交通の特徴を利用者に十分理解していただくことが重要だと考えていますので、これから導入までに丁寧に周知していきたいと思えます。
—	—	総花的にやることで、定刻通りにバスが来ない、到着しない、本数が少ない等の不満が出て、やっぱりバスは使えないとならないようにお願いしたい。	1	西脇市では、計画案のとおり市全域の公共交通網を再編し、どこに住んでいても公共交通を利用できる環境を目指しています。 事業費や既存交通との役割分担など、一定の制約がありますが、その中で、多くの方に満足してもらえるような公共交通網を構築していきたいと考えています。